

# ぼくのノオト

## ③8 あつと驚く旅五郎

土砂降りの雨の中、所どころ川のように  
なった林道で、タイヤを滑らせないように  
オートバイを走らせる。「峠駅」まで数百  
メートル、そんな標識をわき道に見つけ、  
一時避難することにした。

民家も見当たらない山の中にあつたの  
は、木造倉庫のような無人駅。時刻表を見  
ると、一日に何本かは電車が停まるようだ。  
獣のほかに話し相手もなく、あたりは暗  
くなりそうなので、濡れたカップをもう一  
度着て、温泉宿に向かった。

帰ってから調べてみると、そこは奥羽本  
線で、山形新幹線も通るらしい。あの山奥  
の在来線を、新幹線が走るのには驚きだし、  
不思議でならない。

どこに何があり、あれを食べて、それを  
買う。何でもばらまきの怪しげなGOTO  
観光ではなく、人知れず、驚きと不思議が  
待つ旅に出よう。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操